

4年ぶりに高等学校・専修各種学校進路連絡協議会を開催しました。

7/26(水)に宇都宮市駒生のコンセーレ（栃木県青年会館）にて、当連合会と栃木県高等学校長会進路指導委員会（委員長：柳田栃木商業高校校長）と共催による、「高等学校・専修各種学校進路連絡協議会」をコロナ禍前の令和元年度から実に4年ぶりに開催しました。

会議には、県内公立・私立の校長先生や進路指導関係の先生方、18校22名と、当連合会の会員校10校12名の校長や教職員が出席し、情報交換を行いました。

主催者である当連合会の石川理事長と、共催者の柳田委員長（校長）のあいさつの後、来賓の栃木県文書学事課の赤羽根主事、高校教育課の飯田指導主事、そして、全国専修学校各種学校総連合会の原田総務課長の皆様からごあいさつをいただきました。

会議では、各会員校から進路状況や学校内容の説明を行い、高等学校からも現役高校生の進学・就職に関する進路の動向や傾向などについて、各校からご説明をいただきました。後半では、室内を自由に動いていただき個別情報交換・交流会として、主に高校の先生方に会場内を自由に動いていただき、会員校とのコミュニケーションを深めていただきました。

今後とも高等学校と専門学校の交流の場として毎年開催して参ります。



会員校からの就職状況等を説明しました



高等学校の先生方から現役高校生の進路状況について説明していただきました。